

平成29年度予算案について

(H29.02.09記者発表)

私にとりましては、今任期後半への折り返しとなる平成29年度の各会計予算案がまとまりましたので、その概要についてご説明申し上げます。



新年度予算の編成にあたっては、その基本的な考えとして、「財政標準化計画」をもとに、収支バランスを維持し、公債費の抑制などに努めるとともに、「第6期総合計画」の着実な推進を図り、「みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ」の実現に向け、編成を行ったところであります。

編成した予算は、都市としての魅力を高め、新たな価値を創造することにより、人口が増加し発展する千歳を目指すとともに、住みよさを実感し誇りを持てるまちづくりを目標に、定住人口や交流人口の拡大、子育て支援、教育環境の充実などの各種施策を着実に進めることで「成果」を出しながら、まちの「成長」に繋げることにより、多くの市民が「千歳に住みたい・住み続けたい」と思っただけのよう「住みたいまちへの“成長”予算」として、取りまとめたところであります。

予算の概要であります。 「休日夜間急病センター整備事業」では、本年9月の開設に向け、28年度に引き続き建築工事などを進めるとともに、開設後の運営費を計上しております。

大型事業である「第2庁舎建設事業」は、市民の利便性向上及び庁舎の集約化を進めるため、30年度の庁舎完成に向け建設工事に着手し、建設用地の樹木移設、下水道管移設などを行う、「第2庁舎建設等附帯事業」についても併せて実施いたします。

また、新規事業では、バス路線再編、長都駅の利用者増に伴い、長都駅東口の再整備を行う「長都駅前広場再整備事業」を開始するとともに、公営住宅みどり団地3号棟の完成により、移転後の公営住宅を用途廃止する「公営住宅用途廃止事業」、「道央廃棄物処理組合焼却施設建設事業」、「外国人旅行者受入環境整備事業」、「ブロードバンド環境整備事業」などに着手します。

子育て・教育では、28年度施設建設を完了し4月1日開設する「北陽小学校区学童クラブ」に続き、30年4月開設に向け、「緑小学校区学童クラブ」の建築工事に着手するほか、28年度、保育定員拡大に対する施設整備に対し補助を実施し、4月からは保育定員を110名拡大し受け入れを開始いたします。

教育においても、きめ細かな指導を行い基礎学力の向上を図るため、学習支援員を増員し学力の向上を図るとともに、電子黒板などのICT機器の整備については、全小中学校の普通教室に加え、少人数指導教室や、理科室等特別教室への整備が完了いたします。

このほか、老朽化が進む道路、街路灯、橋梁などの改修を行う「道路ストック整備事業」、「橋梁長寿命化対策事業」を継続して取り組むほか、「高齢福祉、介護保険、障がい福祉」の次期計画策定や、「地元就職・人材確保支援事業」、「青葉陸上競技場改修事業」など、各分野にわたって施策を展開してまいります。

すでに、公約として掲げた60項目は、全て着手済みとなっておりますが、引き続き達成率の向上に向け、各事業を推進してまいります。

ます。

新年度の予算額であります。一般会計では、382億4百万円となり、前年度の予算比で4億6千5百万円の増となっております。

また、特別会計では6会計の総額で156億5千6百万円となり、一般会計を含めた総額では、538億6千万円、これに公営企業会計を加えた総体額で689億2千8百万円の規模で編成したところであります。

なお、平成29年度の重点施策につきましては、「重点施策の体系」にありますように、「活力」と「安心」の2つを柱に、「経済・雇用」、「市民協働・地域活動」、「医療・福祉」、「子育て・教育」、「環境・防災」の5項目に対し、64の細事業を位置付け、当市の持続ある発展のため、重点的に取り組んでまいります。

この予算案につきましては、3月1日に開会予定の第1回市議会定例会に提案してまいりたいと考えております。